

△の数	訂正記事	担当	検図	年月日	△の数	訂正記事	担当	検図	年月日
△					△				
△					△				

適用規格				
定格	使用温度範囲	-55℃～85℃(注1)	保存温度範囲	-10℃～60℃(注2)
	電圧	AC 200 V	使用湿度範囲	40%～80%
	電流	3 A	保存湿度範囲	40%～70%(注2)

性能		規格		QT	AT
項目	試験方法	規格			
構造	外觀, 構造及び仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。		○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz) で測定する。		○	-
	絶縁抵抗	DC 500 V で測定する。		○	-
	耐電圧	AC 650 V の電圧を 1 分間印加する。		○	-
機械的性能	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。		○	-
	耐振性	周波数 10～55 Hz, 全振幅 1.5 mm, 3 方向各 2 時間試験する。		○	-
	耐衝撃性	加速度 490 m/s <sup>2</sup> , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 方向各 3 回試験する。		○	-
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃, 湿度 90～95% 中に 96 時間放置する。		○	-
	温度サイクル	温度 -65→+15→+35→+125→+15→+35℃ 時間 30→10～15→30→10～15 分 を 5 サイクル試験する。		○	-
	塩水噴霧	濃度 5% の塩水, 48 時間放置する。		○	-
	硫化水素	濃度 3 ppm, 96 時間放置する。 (試験規格: JEIDA 38)		○	-
	はんだ耐熱性	はんだ槽の場合: はんだ温度 260±5℃ 浸せき時間 10±1 秒間		○	-
		はんだごての場合: こて温度 350℃ はんだ付け時間 3 秒以内		○	-
はんだ付け性	はんだ温度 245±3℃, 浸せき時間 2 秒間のはんだ付けを行う。		○	-	

備考  
 注1. 通電時の温度上昇を含みます。  
 注2. ここでの保存とは、基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表します。

製図	担当	検図	承認	出図

試験規格の記載のない試験方法はMIL-STD-202を適用している。  
 注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目

旧CL CL	図番 SLC4-018127-21	製品名	A1-64PA-2.54DSA(71)
		製品コード	CL619-0035-9-71

TO  
 PCK